

第 9 表 都道府県別、面積、民有地等

ア) 緩衝緑地、都市緑地、緑道の合計である。
 a) 青森県上北郡十和田湖町と秋田県鹿角郡小坂町の境界未定のため、県計に含まない。(550.18km²)
 b) 十和田湖水面境界未定のため、青森県、秋田県に含まない。(59.77km²)
 c) 新潟県糸魚川市、長野県北安曇郡小谷村、白馬村の境界未定のため、県計に含まない。(918.56km²)
 d) 山梨県富士吉田市、南部留部町、静岡県富士宮市、駿東郡小山町の境界未定のため、県計に含まない。(657.90km²)
 e) 中越水面境界未定のため鳥取県、島根県に含まない。(97.71km²)
 f) 熊本県球磨郡水上村と宮崎県東臼杵郡椎葉村の境界未定のため、県計に含まない。(729.79km²)

都道府県	面積 (各年10月1日)	民 有 地 (各年1月1日)				自然公園 面積 (各年3月末)	都市公園 面積 (各年3月末)	ア) うち 緑地面積 (各年3月末)	
		うち 宅 地	うち 田	うち 畑	うち 山 林				
昭和 58 年	377 765.27	161 507	12 384	30 017	25 879	76 135	5 319 689	47 222	3 163
59	377 780.55	161 176	12 565	29 933	25 885	75 891	5 321 588	50 081	3 738
60	377 801.14	161 901	12 764	29 903	25 933	76 620	5 325 189	52 474	4 159
61	377 815.02	161 755	12 953	29 796	25 955	76 547	5 323 187	54 681	4 375
昭和 62 年	377 835.24	161 637	13 117	29 692	25 915	76 596	5 297 463	57 063	4 776
北海道	83 519.69	28 373	820	2 604	7 985	11 303	836 871	6 439	285
青森県	a) b) 9 247.04	3 960	226	919	749	1 479	114 723	785	83
岩手県	15 277.35	7 444	232	990	801	4 377	71 977	546	28
宮城県	7 291.69	3 367	301	1 164	361	1 422	187 605	1 440	75
秋田県	a) b) 11 434.81	3 937	195	1 344	278	1 376	123 166	852	3
山形県	9 326.63	3 515	195	1 058	385	1 528	156 505	701	138
福島県	13 783.79	6 064	318	1 178	906	3 131	170 325	968	12
茨城県	6 094.43	4 196	508	987	1 153	1 285	88 189	999	147
栃木県	6 413.79	3 308	318	1 014	455	1 281	132 159	1 010	39
群馬県	6 355.61	2 540	308	331	717	939	90 350	1 526	19
埼玉県	3 799.32	2 337	532	501	639	524	120 393	2 148	569
千葉県	5 150.60	3 576	555	944	722	1 049	28 339	2 039	364
東京都	2 166.26	1 073	523	13	139	327	73 598	3 433	353
神奈川県	2 402.90	1 321	509	80	251	343	54 553	2 093	182
新潟県	c) 12 111.63	4 940	360	1 727	420	2 168	316 804	861	15
富山県	4 252.35	1 424	184	687	71	411	119 754	875	99
石川県	4 197.65	1 653	149	467	156	800	49 477	704	42
福井県	4 191.60	1 620	122	444	62	936	61 399	742	142
山梨県	d) 4 254.01	1 320	124	144	311	641	128 311	432	30
長野県	c) 13 133.20	4 773	330	769	821	2 201	278 684	1 009	102
岐阜県	10 595.75	4 658	270	553	234	3 346	187 850	816	3
静岡県	d) 7 324.84	4 274	447	382	658	2 430	83 577	1 276	45
愛知県	5 138.69	2 743	659	652	484	765	89 527	2 836	249
三重県	5 777.69	2 880	255	588	258	1 658	206 902	699	84
滋賀県	4 016.00	1 679	167	590	71	768	146 288	414	10
京都府	4 612.94	1 584	179	312	107	914	7 795	830	70
大阪府	1 869.40	892	449	170	54	168	11 648	3 196	302
兵庫県	8 380.89	4 118	455	830	143	2 482	159 942	3 154	269
奈良県	3 692.15	1 445	117	237	84	954	63 327	1 020	71
和歌山県	4 724.70	2 471	115	221	202	1 895	42 771	333	81
鳥取県	e) 3 494.10	1 380	83	291	163	682	45 313	303	30
島根県	e) 6 628.52	3 250	106	454	183	2 396	40 519	544	1
岡山県	7 091.54	3 664	271	740	294	2 204	71 232	1 005	121
広島県	8 466.87	4 027	280	602	292	2 700	34 396	1 378	60
山口県	6 106.79	3 253	222	583	190	2 111	40 555	921	125
徳島県	4 145.66	1 822	99	254	197	1 243	38 523	249	2
香川県	1 882.60	1 179	137	327	147	533	16 088	488	84
愛媛県	5 672.29	3 112	181	344	478	2 048	41 195	909	16
高知県	7 107.17	3 314	79	287	171	2 715	47 792	250	8
福岡県	4 962.61	2 839	504	837	319	910	88 089	2 275	172
佐賀県	2 440.04	1 450	110	487	233	506	27 441	365	45
長門県	4 112.57	1 918	155	302	484	798	74 779	830	2
熊本県	f) 7 215.55	2 969	243	774	647	1 000	155 837	599	33
大分県	6 338.02	2 327	162	503	333	969	174 851	481	119
宮崎県	f) 7 198.05	2 404	179	431	457	1 096	92 050	1 017	17
鹿児島県	9 166.58	4 140	278	551	1 160	1 695	74 212	896	19
沖縄県	2 254.97	1 130	107	23	490	90	31 782	381	12

第 2 章
気 象

資料 建設省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、自治省税務局固定資産税課「固定資産の価格等の概要調書(土地)」
 環境庁自然保護局計画課「自然公園の面積」、建設省都市局公園緑地課「都市緑化年報」

第 2 章 気 象

月平均気温と降水量の関係

概 況 (昭和62年)

年の初めは、前年に引き続き天気は周期的に変り、冬型の気圧配置になるが長続きせず暖かい冬となった。3月の下旬から6月にかけて寒暖の差が大きく、高気圧におおわれる日が多く晴れの日が多かった。4月の降水量は43mmと少雨になった。6月8日に梅雨入りとなり、7月24日梅雨明けとなった。本年の梅雨は、全般に梅雨前線の活動が弱く、梅雨期間の総雨量は210mm(平年377mm)で平年の56%依然として少雨傾向が続いた。8月の初めは、太平洋高気圧の勢力は弱かったが、以後次第に強まり9月上旬には本年の最高気温が出るなど残暑の厳しい夏となった。秋に入っても晴天の日が続いたが、10月17日に台風19号が四国室戸付近に上陸し、兵庫県明石市付近に再上陸後、近畿地方を縦断して日本海にぬけた。近畿地方に上陸したのは8年ぶりのことだった。その後12月に入ると一時的に強い冬型の気圧配置となり初雪や初氷の観測されたが冬型は長続きせず、気温は次第に上昇して春のような暖かな年末であった。

主な各要素についてみると、月別平均気温は平年を下回ったのは4月のみで、他の月はいずれも平年並かやや高かった。年間降水量は949mmで平年の68%とかなり少なかった。年間平均日照時間は2062時間(参照値1905時間)とかなり多かった。

1 月

周期的に天気が変わり、気温変化が大きかった。

2 月

11月には平年に比べ16日も早く「春1番」が吹き、最高気温は19.9℃と2月の日最高気温では2位を記録した。

3 月

寒暖の差が大きかったが引き続き気温が高く、桜は平年よりかなり早い25日に開花(平年4月1日)した。

4 月

帯状の高気圧におおわれ晴れの日が多く、降水量は43mm(平年145.4mm)で過去の4月で一番少ない記録となった。

5 月

13日から14日にかけて低気圧が発達しながら南岸上を通り、105.5mmの雨量を観測し、4月の少雨傾向は一時的に解消された。

6 月

高気圧におおわれ晴れる日が多く、平年並に梅雨入りしたが前線活動が弱く、日照時間は223.7時間と平年に比べ、77時間も多く降水量は平年の半分以下だった。

7 月

太平洋高気圧の張り出しが弱く、平年より7日遅い24日に梅雨明けとなった。

8 月

初めは太平洋高気圧が弱く不安定な天気となったが、その後は太平洋高気圧におおわれ暑い晴天が続いた。

9 月

前半は晴れの日が多く残暑がきびしく、後半は秋雨前線が活発となり曇雨天の日が多かった。

10 月

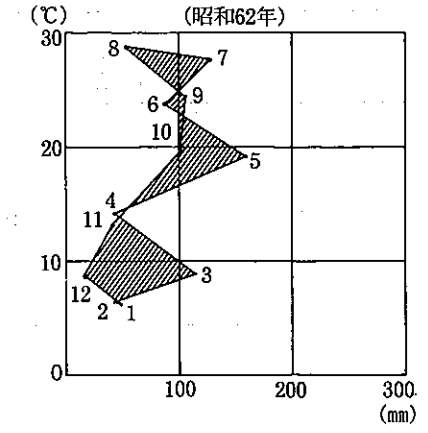
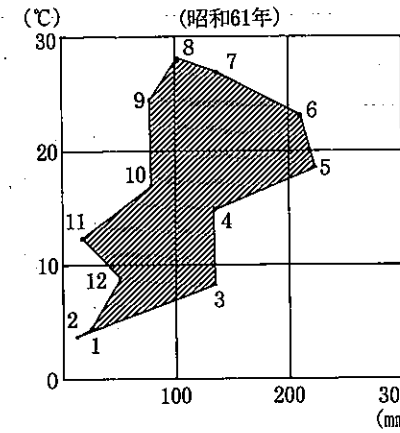
移動性高気圧におおわれる日が多かった。17日に台風19号が近畿地方に上陸したが大阪地方には大きな影響はなかった。

11 月

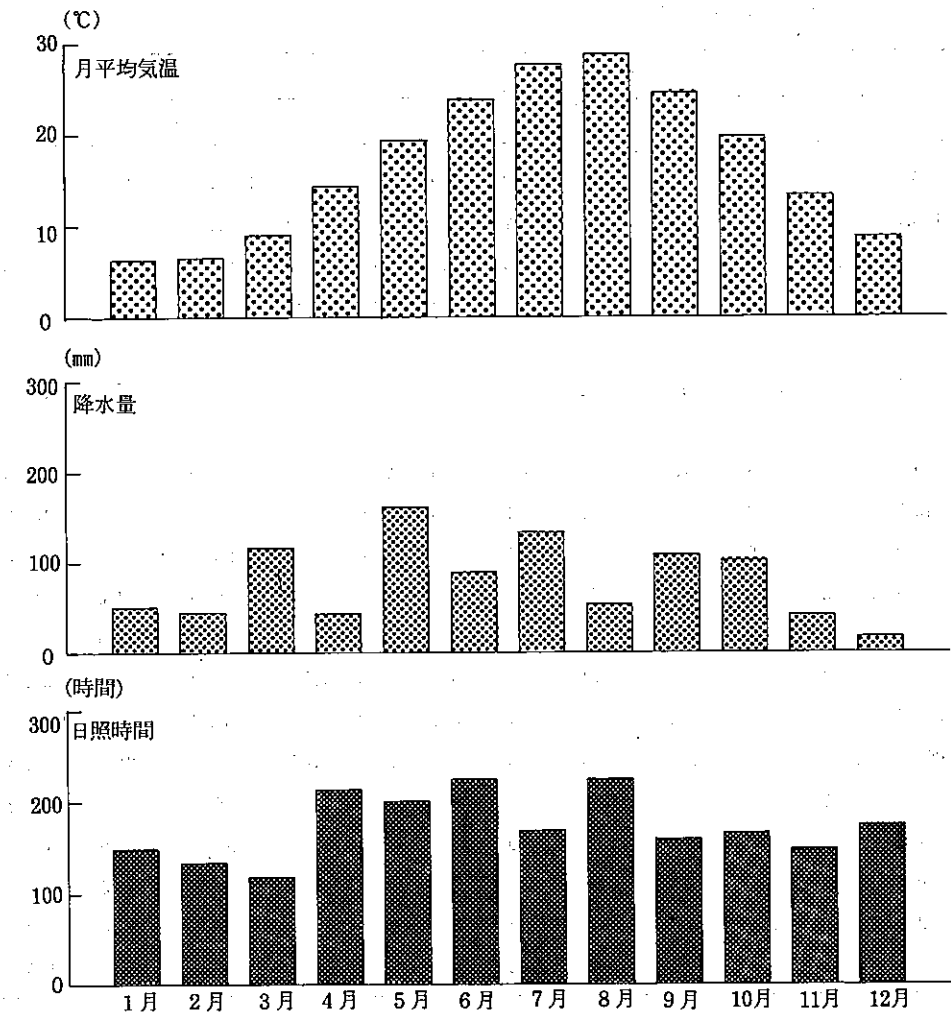
月の初めと終り頃、高気圧が北から張り出し南岸の前線の影響で曇雨天となったが、その他は高気圧におおわれ晴れの日が多かった。30日に初霜(平年より3日遅い)があった。

12 月

初めは一時的に強い冬型の気圧配置となり寒気が流れ込み2日に初雪・初氷を観測した。大阪の初雪は平年より26日も早かった。その後下旬に向かって南海上の帯状高気圧におおわれ晴れの天気が続き、気温は次第に上昇して、下旬の最高気温の平均は過去最高となった。



月平均気温と降水量と日照時間 (昭和62年)



第1表 大阪管区気象台

1) 「地上気象観測原簿」によるものである。

位 置	経 緯 度		海面上高	創立年月日	主要器材の位置
	東 経	北 緯			
大阪市中央区大手前4-1-67	度・分	度・分	m		水銀気圧計(海面上) 49.9 m
	135.31	34.41	23.1	明治15. 7. 1	温度計(地面上) 1.5
					風向風速計(地面上) 53.0
					自記雨量計(地面上) 0.5
					露 場(海面上) 23.1

資料 大阪管区気象台調査課

第2表 気象概況

ア) 1日8回の測定値から、その日の平均値が計算される。
 イ) 1日4回の測定値から、その日の平均値が計算される。
 ウ) 全天雲に被われた場合を10とし、雲のない状態を0とした基準。
 エ) 0時~24時の全風程から求められている。
 オ) 過去における最高、最低及び最大値である。

年 月	平均気圧 (海面)	気 温			イ) 平均湿度 %	ウ) 平均雲量	風 速			降 水 量		日照時間 総 数	有感地震
		ア) 平均	最高値	最低値			エ) 平均	最大瞬間	風 向	総 量	最大時量		
昭和58年	1 015.0	16.5	38.5	△2.5	64	6.2	3.7	30.1	W	1 242.0	26.5	2 263.1	6
59	1 015.3	15.8	36.9	△2.9	65	6.2	3.5	27.4	WSW	1 059.5	37.0	2 270.8	19
60	1 015.4	16.6	38.1	△2.7	66	6.6	3.5	29.2	WSW	1 276.5	32.5	2 169.4	8
61	1 015.1	15.8	35.9	△2.1	65	6.3	3.4	22.0	SW	1 203.5	36.5	2 055.5	4
昭和62年	1 015.7	16.8	35.2	△1.5	65	6.2	3.4	28.3	ENE	949.5	42.0	2 062.1	6
1月	1 020.7	6.2	15.8	△1.5	62	5.9	3.8	20.9	W	50.0	6.5	147.5	-
2	1 018.5	6.5	19.9	△1.2	61	6.1	3.8	19.9	W	44.5	6.0	133.3	-
3	1 016.2	8.9	21.0	△1.0	64	7.1	3.6	17.8	WSW	115.5	13.0	117.3	-
4	1 017.6	14.2	26.0	2.1	59	6.1	3.1	17.4	SSW	43.0	4.0	212.4	-
5	1 014.3	19.3	30.5	8.4	66	7.0	3.3	21.4	SW	160.5	12.5	199.8	2
6	1 009.3	23.8	34.9	16.2	64	5.9	3.6	17.8	ENE	87.0	10.0	223.7	1
7	1 008.5	27.6	35.2	21.2	72	7.7	3.4	20.0	SW	132.0	11.0	166.9	1
8	1 009.9	28.7	35.2	22.5	68	6.8	3.5	24.0	SSW	52.0	24.5	223.4	1
9	1 013.2	24.4	35.2	12.9	65	6.8	3.7	17.6	E	107.5	42.0	157.3	-
10	1 017.5	19.6	29.2	11.0	68	6.0	3.5	28.3	ENE	101.0	11.0	164.0	-
11	1 020.8	13.4	22.8	3.6	68	5.1	2.8	16.2	W	41.0	6.5	145.6	-
12	1 022.1	8.7	19.0	1.2	65	4.3	3.0	23.1	W	15.5	2.0	170.9	1
平 年	1 015.1	16.2	-	-	67	6.2	-	-	-	1 399.6	-	1 905.2	-

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第3表 天 気 の 概 況

区 分	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭 和 62 年												
	総 数	総 数	総 数	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量≥0.5mm	87	117	107	105	8	7	14	9	10	8	15	6	7	10	7	4
降水量≥1.0mm	77	104	96	98	8	7	12	9	9	7	14	6	7	10	6	3
降水量≥10.0mm	34	44	40	35	2	2	6	2	4	3	5	2	3	4	2	-
降水量≥30.0mm	10	9	13	5	-	-	-	-	2	-	1	-	1	1	-	-
雪 日 数	42	14	24	22	9	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
雷 日 数	19	14	9	10	-	-	-	-	1	-	1	3	3	2	-	-
霧 日 数	4	6	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙霧日数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風日数(≥10m/s)	23	31	18	25	3	6	3	1	1	2	1	3	1	2	0	2
雲量 < 1.5	24	21	2	29	1	2	1	3	2	3	-	-	2	2	5	8
雲量 ≥ 8.5	111	128	3	100	6	7	8	6	12	10	15	9	9	6	3	3
不照日数	35	39	32	36	3	4	5	3	3	4	3	-	2	5	2	2

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第4表 地域気象観測所の平均気温

観測所	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭 和 62 年												
	平均	平均	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
能 勢	12.3	13.2	12.8	13.6	2.8	3.3	6.5	11.5	16.6	21.0	24.7	25.5	21.1	16.4	9.9	4.1
枚 方	13.9	14.7	14.3	15.2	4.4	4.7	7.6	13.1	18.1	22.6	26.3	27.2	22.8	17.9	11.5	6.5
豊 中	-	15.6	14.9	15.9	5.2	5.5	8.3	13.6	18.7	23.1	26.8	27.8	23.6	18.9	12.5	7.1
生駒山	10.8	11.7	11.1	12.0	1.3	1.6	4.3	10.4	15.0	18.7	22.6	23.3	19.0	14.6	9.2	4.3
堺	14.5	15.3	15.1	15.7	5.7	5.7	8.4	13.3	18.2	22.8	26.8	27.6	23.0	18.2	11.9	7.1
熊 取	14.3	15.1	14.6	15.4	5.5	5.7	7.8	12.6	17.8	21.9	26.1	27.1	22.5	18.1	12.4	7.8

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第5表 地域気象観測所の降水量

観測所	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭 和 62 年												
	総 量	総 量	総 量	総量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
能 勢	1 175	1 487	1 322	1 297	44	47	90	40	148	171	318	69	143	140	64	23
箕 面	1 090	1 632	1 374	1 141	81	41	121	39	162	123	213	77	102	111	57	17
枚 方	1 120	1 430	1 295	1 099	61	43	120	43	170	64	195	130	119	101	40	13
豊 中	1 071	1 405	1 137	980	60	41	111	37	162	96	155	83	84	86	49	16
生駒山	1 181	1 568	1 317	1 215	73	47	147	66	171	99	172	70	185	127	46	12
堺	1 021	1 281	999	955	54	35	116	55	127	86	107	78	107	130	45	15
河内長野	1 151	1 350	1 097	1 061	61	40	139	49	179	97	125	71	114	120	49	17
熊 取	1 001	1 344	1 073	965	65	32	120	46	170	109	120	53	81	111	45	13

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 6 表

全国主要気象官署別気象概況

7) 3時、6時、9時、12時、15時、18時、21時、24時の合計8回の観測値を算術平均したものである。
イ) 3時、9時、15時、21時の4回の観測値を算術平均したものである。
ウ) 日照計の種類が変更されたため、各観測所で算出した参照値である。
エ) 平均雨量1.5未満の日である。
オ) 任意の10分間平均風速の最大値である。
カ) 最北端の観測地点(アムダスを除く)。 キ) 最南端及び最東端の観測地点。 ク) 最西端の観測地点。

(昭和 62 年)

Table with columns for 気象官署, 気 温, 相 対 湿 度, 日 照 時 間, 降 水 量, 最深積雪, エ) 快晴日数, オ) 最大風速. Rows list various weather stations across Japan like 札幌官署, 仙台官署, etc.

第 3 章
人 口